

区分	専門分野	単位	2単位
科目名	小児看護学実習	時間数	90時間
講師名	専任教員	履修学年	3年次
概要	成長・発達段階を理解し小児とその家族に応じたな看護を実践するための基礎的能力を養う。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> あらゆる健康レベルの小児と家族が理解できる。 健康障害や入院生活が小児・家族に及ぼす影響を理解できる。 小児の発達段階を考慮し、小児とその家族必要な援助を理解できる。 小児看護における看護技術および治療介助が理解できる。 小児の安全を守るために必要な看護管理について学ぶことができる。 小児科外来の特徴と役割が理解できる。 小児看護における保健・医療・福祉チームの連携が理解できる。 		
授業内容（授業計画）			
<p>実習場所： 市内保育園および病院 市立函館病院 小児科病棟、小児科外来、保育園 独立行政法人国立病院機構函館病院 重症心身障がい者病棟 函館中央病院 未熟児センター</p> <p>実習方法： オリエンテーション（2h）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 外来：小児外来の機能と役割から看護師の役割を問診診察の介助、乳幼児健診・予防接種の見学介助を体験し学ぶ（14h） 2) 病棟：受け持ち患児1名を担当し発達段階を考えた看護援助を学ぶ（28h） 3) 保育園：健康な小児と関わり発達段階・日常生活を学ぶ（28h） 4) 重症心身障がい者病棟：見学実習から重症心身障がい者の特徴と援助を学ぶ（8h） 5) NICU・GCU:見学実習から未熟児の特徴と看護援助を学ぶ（5h） 6) 学内実習：ディスカッション（5h） 			
使用教科書・教材・参考書			
<p>系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [1] [2] 医学書院 イラスト小児の生活援助 文光堂 小児看護学 小児の主要病状とケア技術 医師薬出版株式会社 参考資料 小児看護過程&関連図 日総研 小児看護 へるす出版</p>			
成績評価の方法			
出席状況、実習目標の達成度、実習姿勢、記録物等による総合評価			
備考			
<p>実習準備・オリエンテーションを実習開始前に行う 実習前に課題レポートを提出 実習期間中は自己の健康管理に十分留意する</p>			